

## 会 議 録

会議の名称	平成26年度 第1回公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会
開催日時	平成26年 6月20日(金) 午後 1時00分から 午後 3時00分まで
開催場所	本庄市役所 職員厚生室
出席者	(アドバイザー) 小松幸夫教授 (委員) 飯塚 俊彦委員、粂田 平一郎委員、入 利雄委員、 奥原 喜一郎委員、河田 重次委員、樋口 頼正委員、 今井 勝子委員、鈴木 隆治委員、明堂 純子委員、 山田 康博委員、瀬山 四郎委員、永尾 路子委員、 富丘 敦委員、種村 朋文委員、内田 睦夫委員(代理)、 小賀野 昇委員、高橋 福八委員、清水 由紀夫委員(代理)、 青木 光蔵委員 (事務局) 吉田 信解市長(次第3まで出席後途中退席)、 奥田 謁夫副市長、新井企画財政部長、山下部企画課長、 武政企画課施設調整係長、飯島主事
欠席者	須藤 成光委員、江原 貞治委員、
議題 (次第)	1 開 会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 各委員自己紹介 5 意見交換 (1)本庄市公共施設マネジメント白書について(報告) (2)公共施設再配置計画の概要及び進め方について (3)市民アンケート調査について 6 その他 7 閉 会
配付資料	・資料1:本庄市公共施設マネジメント白書作成・再配置計画策定の概要 ・進め方 ・資料2:公共施設再配置計画の策定内容について ・資料3:市民アンケート依頼文・調査票 ・本庄市公共施設マネジメント白書(本編) ・本庄市公共施設マネジメント白書(概要版)

その他特記事項	
主 管 課	企画財政部企画課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
1. 開 会	
事務局	<p>開会に先立って事務連絡を行います。</p> <p>須藤委員、江原委員の両名は、欠席の連絡をいただいています。</p> <p>次に、懇談会の議事録につきましては、市のホームページで公開を行います。なお、委員の方のお名前は伏せて「委員」という形で記載を行います。 (配布資料の確認)</p> <p>また、懇談会は公開の対象であり、傍聴について1名の申し出がありましたので、入室を許可頂けますようお願い致します。</p> <p>それでは、次第にしたがって会議を進めさせていただきます。奥田副市長より開会のあいさつを行いたいと思います。</p>
奥田副市長	<p>本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。只今から、平成26年度第1回公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会を開始させていただきます。委員の方には是非ご意見いただくたく存じます。</p>
2. 委嘱状交付	
事務局	<p>吉田市長より、委嘱状の交付を行いたいと思います。委嘱状については、今年度、新たに委員となられた8名及びアドバイザー1名に交付させていただきます。</p> <p>(吉田市長より、各委員に対し委嘱状の交付)</p>
3. あいさつ	
吉田市長	<p>皆さんこんにちは。平成26年度第1回公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会にお越しいただきありがとうございます。また、日頃から市政に多大なるご協力を賜り、心から御礼申し上げます。</p> <p>公共施設についてですが、全国的に高度成長期以降の20年ほどで整備されており、今後、集中して大規模な改修や建て替え時期を迎えます。一方、人口減少や少子高齢化に伴って税収の伸び悩みや扶助費の増大が懸念され、大変厳しい状況であるのはご存じのとおりでございます。</p> <p>本庄市は、今から8年前に旧本庄市と旧児玉町が合併して誕生しました。旧市町で整備されてきた公共施設を数多く保有しており、施設機能の重複や偏りが見られます。また、築後30年を超える施設が半数を超えており、維持管理費が増大しています。今後のさらなる老朽化に伴い、大規模な改修や建て替えが予想され、市の財政にとって大きな負担になってくることが予想されます。このような状況から、公共施設の総量規制、または複合化や管理運営方法等について計画・実行していくべき時期にさしかかっています。本庄市総合振興計画後期基本計画に掲げられている重点的な取組の一つである「公共施設の適正な配置」について推進するために、平成23年に企画課内</p>

	<p>に施設調整係を設置したところでございます。公共施設の適正な配置に取り組むにあたりまして、先導的な施設として市民プラザ跡地に複合施設、児玉総合支所の建て替えの検討を行ったところであります。この検討にあたりまして、平成24年に本懇談会を設置して、先導的な2つの施設の機能や活用の仕方についてご意見をいただき、現在建設工事を行っているところでございます。その後、公共施設の適正配置を進めるために、平成25年度には市が保有する公共施設の利用状況・建物の状況・維持管理にかかるコストの状況などの現状をまとめた基礎的な資料として公共施設白書を作成いたしました。この白書を作成したことにより、公共施設の適正配置を検討する準備が整ったと考えており、この懇談会を再開したという経緯でございます。</p> <p>今年度は公共施設再配置計画を策定する予定となっております、本日お集まりの様々な団体からのご意見をいただき、計画に反映をしていきたいと考えております。また、今回からは専門的な内容が含まれておりますので、公共施設マネジメントに精通しておられます早稲田大学創造理工学部建築学科の小松教授をアドバイザーとしてお迎えし、有識者としてのご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。公共施設については、今後の市全体を左右する大きな課題であるため活発なご意見をいただけますようよろしくお願い致します。</p> <p>(市長、公務のため退席)</p>
4. 各委員自己紹介	
(各委員から自己紹介)	
5. 意見交換	
(1) 本庄市公共施設マネジメント白書について(報告)	
(本庄市公共施設マネジメント白書(概要版)(本編)について事務局より説明)	
アドバイザー	白書(概要版)の19ページの説明で、維持管理費は11.9億円となっておりますが、これは実績値でしょうか。
事務局	維持管理費は過去3年間の平均で実績値となっております。
アドバイザー	将来的に、この費用で維持管理していくことが出来るということでしょうか。
事務局	その保証はございません。
アドバイザー	更新費について推計しているので、本来であれば、維持管理費についても推計を行うべきではないでしょうか。
事務局	今回の将来経費の推計については、あくまでも更新費の概算を趣旨としており、維持管理費は参考として記載しています。
アドバイザー	そういった意味では、推計としては不十分であると私は思います。今現在、施設管理費としては年間どのくらいでしょうか。投資的経費の実績と推計をみると20~30億円程度でしょうか。
事務局	直近の投資的経費でみるとその程度だと思います。

アドバイザー	<p>財政としてどれだけ充当できるかという推計が必要かと思います。削減目標を掲げる際のプロセスの一つとして、施設関連に充当できる予算がどのくらいかを検討した上で、足りない部分は施設を削減するという流れがあります。</p> <p>財政の見通しをしておかなければ、ある日突然お金が無いという状況になりかねないと思います。</p>
委員	<p>基本的な話ですが、計画の対象としては、ハコモノのみなのでしょうか。公園なども検討の対象となるのではないのでしょうか。実際、公園についても維持管理費がかかってくるかと思います。</p>
事務局	<p>平成 25 年度に作成した本庄市公共施設白書の対象は、ハコモノ 116 施設になっています。ご意見のとおり、当然、市はインフラも保有しています。まずは、ハコモノを考えた上でインフラを考えていくことを想定しています。</p>
アドバイザー	<p>インフラについては土木の分野になります。道路や水道、橋りょうなどの土木は国としてはまずインフラを優先しているようです。実情は、インフラに関する費用の方が多くかかることが想定されます。このため、ハコモノに廻すことが出来るお金はもっと少なくなると想定されます。インフラの方の決着のさせ方についても議論があるかと思いますが、インフラに関する費用についても縮減の傾向になるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>本庄市の総合振興計画やマスタープランなどの計画との整合性はどのようにしていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>整合性を図ったものとして策定していきたいと考えています。</p>
<p>(2) 本庄市公共施設再配置計画策定の概要及び進め方について</p>	
<p>(資料 1、資料 2、参考資料について事務局より説明)</p>	
委員	<p>市営住宅の入居者の家族構成や収入について把握する必要があるのではないのでしょうか。現状では、低所得の方が多く入居されていると思いますが、今後、低所得の方が人口に対してどの程度の割合となるのかの推移について知る必要があるのではないのでしょうか。市営住宅を削減するにはそのあたりを整理する必要があるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>市営住宅については別途長寿命化計画があり、再配置計画は長寿命化計画の内容を反映させた計画とすることを想定しています。また、実際に施設が建て替えとなった際には、きちんと入居者に配慮していくと思います。</p> <p>ただ、再配置計画は個別の施設についての計画ではございません。</p>
委員	<p>個別の施設についてではなく、市全体として把握する必要があるのではないのでしょうか。</p>
アドバイザー	<p>公共施設の再配置を議論する際には、よく総論賛成各論反対となりやすいです。例えば庁内で議論をした際に、どの所管も減らされては困るということになり、結局施設を減らす議論のはずが施設を増やせという話になってしまうことがよくあります。そうなってしまうと何のためにやっているのか分</p>

	<p>からなくなってしまう。</p> <p>公共施設の再配置を考える際には、公共サービスとハコモノを一体として考えず、一度切り離して考えるべきだ、とよく言っています。サービス提供の仕方によってハコモノが要らなくなるかもしれませんし、一つのハコモノにいろんなサービスを持たせることも考えられます。このようなことをしていかなければ、恐らくハコモノは減らないでしょう。仮に、公共施設を2割減らすとなった場合、学校を減らせるのかという話が必ず出てくるかと思えます。そこをどう乗り切るのかということが一番のポイントかと思えます。市営住宅については、例えば家賃補助に変更することでハコモノを減らすことができるでしょう。その他にも色々なアイデアがあるかと思えます。そのような議論をしていく仕組みが必要でしょう。</p> <p>全体のスケジュールですが、今年度では参考資料にあるような内容の計画を作成するという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	そのとおりです。
アドバイザー	<p>公共施設の再配置を考える上では、1年2年で施設が無くなることはなく、20年30年かかるもので、そこに向けて目標を掲げて、それに向かって毎年毎年少しずつやっていくことがこれからの姿かと思えますが、そのような仕組みについては何かお考えがあるのでしょうか。例えば、子どもが減っているので小学校2つを1つに減らしましょうという当面の目標が出てくるかと思えます。ただ、それで終わってしまっただけでは何も変わりません。財政面からすると、公共施設を現状の2割3割減らすという大きな目標に向かうためには、取り組みの大きな仕組みが必要となると思えます。</p>
事務局	<p>1年間の中で全ての公共施設の方向性を決められるかという無理がある部分があると思えます。しかしながら、息の長い議論をしていく中で、立ち返るところとしての基本的な方針を決めておくことが、今後議論を進めるに当たっては大事なのではないのでしょうか。基本的な考え方を決めていこうということが今回の計画の立ち位置かと思えます。</p>
アドバイザー	<p>ついでに申し上げますと、総務省からの指針は、公共施設再編についてよく分かっていないように感じます。総務省の指針の内容は必要があると思えますが、20年30年見据えた際の具体的な進め方について記載されていないため、いざ計画どおりに実施しても進まないということになりかねません。</p> <p>今回の計画については、先進的な故に分からない部分が出てくるかと思えますが、全体的な方針とそれに矛盾しない単年度計画との組み合わせが出来るような仕組みについても考えていくことが良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>財政の見通しを考える上でインフラも踏まえて考えなければ、ハコモノについてどの程度お金が使えるのか分からないので、議論が難しいのではないのでしょうか。公共施設を廃止すれば不便になるに決まっていますので、その中で、財政的にかけられるお金を提示しない限り議論が硬直的になってしま</p>

	<p>うと思います。例えば、学校については地域とのつながりが強いので廃止について考えることが出来るのでしょうか。また、公民館については避難所として利用しているので稼働率が低いからと言って廃止することが出来るのでしょうか。総合的に考える必要が出てくるかと思います。財政から考えていくしかないのではないのでしょうか。</p>
アドバイザー	<p>おっしゃるとおり、問題は地域によって様々です。財政見通しは出すことは出来るのでしょうか。</p>
事務局	<p>お手元の資料の概要版の2ページをご覧ください。一番上のグラフの歳入については、市税は100億円から110億円程度で推移しています。その他の部分は上がり下がりが多くなっています。この理由は、歳出の増加に伴って借金をしていたためです。投資的経費は20億円から30億円程度となっており、これらは公共施設に関わる経費です。平成14、15年には体育館を建設しているため増加しています。この10年間を見ていきますと、公共施設についての費用は今後も30億円前後となってくるのではないのでしょうか。ただし、下水道や水道の投資的経費は入っておりません。税金の状況を考えますと、少子高齢化によって税金の増加は余り見込めず、今後はより厳しくなるのかと思います。</p> <p>今回の計画に先立って複合施設の建設を平成25年、26年に行っていますが、それ以外についてはそれほど投資的経費をかけられないのではないかと考えています。</p>
アドバイザー	<p>お役所の方は予想や見通しについてはあまりおっしゃらないので、そういったご発言にならざるを得ないと思いますが、平成40年や平成50年くらいの数値がみたくなるものです。色々な状況を踏まえて、悲観的な場合と、楽観的な場合について、ある程度見通しを出すことは出来るのではないのでしょうか。起債は借金であり、国も財政が大変な状況なので、起債も今後はできなくなる可能性もあるかもしれません。また、扶助費は今後増えてくるかと思しますのでますます厳しくなるかと思えます。相当な覚悟がないといけないくらい深刻な問題になりかねません。そのため、ぶれない方針が必要だと思います。そのあたりがにじみ出るような計画としていただくことが良いかと思えます。</p>
委員	<p>施設が違って同じ機能を持つ施設がたくさんあると思います。また、利用者が偏っている施設もあるかと思えます。その内容も調べた方が良いでしょう。</p>
アドバイザー	<p>受益者市民と負担者市民という言葉があります。そのあたりも踏まえた議論は確かに必要でしょう。</p>
(3) 市民アンケート調査について	
(資料3について事務局より説明)	
委員	<p>公民館の稼働率が低いですが、集計は事務局が行ったのでしょうか。</p>

事務局	公民館に限らず、所管課に調査票を配布しており、所管課に記入をいただいています。稼働率は全体の稼働率となっていますが、貸室別に稼働率が算定できるところについては算定しています。
委員	この稼働率の数値については公民館が把握しているのでしょうか。
事務局	公共施設白書作成のために庁内委員会を組織しており、その委員に所管課である生涯学習課の職員が参加しているため、稼働率については把握しています。
委員	感覚とは異なっているような気がします。
事務局	公共施設白書の本編の 31 ページをご覧ください。そこには貸室別の稼働率をまとめており、貸室によっては稼働率が高くなっています。
委員	余談ではありますが、稼働率を上げるための施策については検討したのでしょうか。
事務局	今回の計画策定の中で、そういった検討もしていく必要があると考えています。一緒に考えていただければありがたいです。
アドバイザー	稼働率の計上方法は統一しておく必要があります。例えば、管理者に利用者の出入りを集計してもらうやり方があります。稼働率の上げ方については、元々需要がないものについては上げようとしてもしょうがないと思います。よく、同じような施設で似たようなサービスを近くで提供しているケースがあり、これにより稼働率が低いことがあるかもしれません。そういった実態を把握した上で、どうするかを決めることが必要かと思います。
委員	公民館については、目で見ていつも多くの方が利用されているという感想を持っていたので質問させていただいた。
アドバイザー	アンケートについては昨日配布したということでしょうか。
事務局	本日配布します。
アドバイザー	それでは、次回にその結果をご報告いただけるということでしょうか。
事務局	速報としてご報告させていただきます。
委員	市営住宅については、入居率が高く、高齢者が多い状況です。また、単身者も増えてきています。医療や介護についてもフォローしていく必要があると思います。10年後 20年後 30年後ということを踏まえた上で計画を考えていく必要があると思います。
アドバイザー	市営住宅の入居者は高齢者・単身者が多い状況となっているというご意見のとおり、高齢者福祉と住宅問題は一緒に考えることが良いのではないのでしょうか。いろんなアイデアを出していくことが大切だと思います。サービスの質が上がってコストが下がることもあるかと思います。
委員	市営住宅を建てる場合、単身の高齢者が増えているのを踏まえて機能を充実させていただくことが良いと思います。
アドバイザー	改修の際に、少し手を加えるだけでニーズに合わせることができると思います。これも検討課題としてあげていただければ市の方で知恵を絞っていた

	<p>だけるかと思います。</p>
委員	<p>住民側から見ると、小島の市営住宅は充実していて、田中の市営住宅は老朽化が進んでおり、差が激しく感じるので、長期的な計画の中で変えていただくと良いのではないのでしょうか。</p>
アドバイザー	<p>新規に施設を増やしていくことは難しいと思います。だからといって、全く新規施設をつくらないということもないでしょう。どこかで新たにつくれば、それ以上に減らすことが必要となると思います。そういった内容の計画をこれから毎年つくっていかねばならないと思います。その場合の原則を今回、方針と決めていければよろしいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>市営住宅についてお話があったので一つ申し上げたいです。私は今、民生委員をしており、市営住宅を4棟で50世帯を担当しています。市営住宅は単身の高齢者が多くなっており、日頃、様々な問題が出てきており対応しています。そのあたりのご理解をいただきたいです。</p>
アドバイザー	<p>本来であれば色々な方が参画していただくと良いかもしれません。</p>
事務局	<p>長時間にわたりありがとうございました。貴重なご意見多数いただきました。これを元に庁内の検討委員会に諮りながら進めて行きたいと思えます。</p>
6. その他	
事務局	<p>今回の懇談会は8月の盆明けに開催することを予定しています。内容としては、再配置計画の素案について検討いただきます。</p>
7. 閉 会	
奥田副市長	<p>本日は長時間にわたりありがとうございました。議論については、公共施設から高齢者の住まい方やまちの形についてまで、広い範囲でご意見いただきありがとうございました。</p> <p>厳しい財政状況の中で現状の公共施設を維持することは非常に難しい状況にあります。ただ、市民の皆様サービスを提供することも必要であり、両者を持続可能な形でやっていくのは知恵の出どころかと思えます。アンケートの結果等を次回にお示しさせていただき、また計画の素案についてもお示しさせていただきますので、引き続きよろしくお願い致します。本日は大変ありがとうございました。これを持ちまして、平成26年度第1回公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>